

2021 年度第 3 回理事会議事録

日 時：2021 年 12 月 13 日（月）午後 1 時 00 分～午後 2 時 00 分

場 所：Zoom によるオンライン会議

出席者：長塚隆・会長、尾崎聖太郎・事務局長、岡慎一郎、小形浩道、田沼繁、
福田直美、松下裕、上田広子事務局長

欠席者：惟村直公・副会長、村上篤太郎

議事に先立ち、会長より、2021 年度下期以降の運営体制の課題について、次のとおり経過説明があった。

- ・ 本協議会誌 203 号（2021 年 9 月 1 日発行）の一部に重大な誤りがあり、編集委員会及び事務局が善後策を協議した結果、再発行すべきとの結論に達したことから、10 月上旬に再度の印刷・発送を行った。
- ・ 上記を踏まえ、編集体制の見直しを行い、204 号（2021 年 12 月 1 日発行）から版下作成等の編集を印刷会社に委託することになった。
- ・ 惟村、村上両理事が所属大学の事情により、2022 年度から理事及び委員会の活動ができなくなったとの申出があった。なお、両理事の辞任後も協議会の事務局については学術情報課程内に引き続き継続可能とのことであった。
- ・ 田沼理事についても、2021 年度限りで退任したいとの意向を示された。
- ・ 財源、役員を選任とも厳しい状況ではあるが、対応策を見出し、2022 年度以降も活動は継続していきたい。

議 題：

1. 議事録署名人の選任

本議事録署名人として、福田理事及び松下理事を指名した。

2. 前回議事録の確認

前回（2021 年度第 2 回理事会）議事録の確認を行い、異議なく承認された。

3. 2021 年度上期の主な活動結果

事務局より、2021 年度上期の委員会活動等及び舎人緑関連事業支援の活動結果について、報告があった。

また、舎人緑関連事業支援の活動については、2021 年度上期をもって契約が満了となったため、契約先のヤオキン商事株式会社に支援業務報告書を提出するとともにコンサルタント事業に対する費用請求についても合意したとの報告があった。

4. 2021 年度上期会計報告

事務局より、本議題については、「議題 6. 2021 年度補正予算（案）」にて説明す

るので、割愛したいとの提案があり、了承された。

5. 会誌の編集体制の変更について

事務局より、会誌の編集体制について、204号（2021年12月1日発行）から版下作成等の編集を印刷会社に委託することになったことから、編集に係る経費の増額があるとの説明があった。

6. 2021年度補正予算（案）

事務局より、2021年度補正予算（案）について、主に次のような説明があった。

- ・ 事業収入のうち、コンサルタント事業については、2021年度上期の実績額として計上した。
- ・ 会誌刊行費のうち、印刷費については、版下作成等の編集を印刷会社に委託するため増額した。また、送料は203号を再発行するため増額した。
- ・ セミナー等活動費については、2021年度の活動が中止となったため、計上を取り下げた。
- ・ 事務局運営費のうち、行動費を減額した。
- ・ 次期繰越収支差額は、補正前予算額より約30万円の減額となる見通しである。
- ・ 2021年11月30日現在の経常支出合計の割合は、59.8%となっているが、会誌刊行費として、204号及び205号分を捻出する必要がある。

以上を踏まえ協議した結果、異議なく承認された。

7. 2021年度セミナーの中止について

セミナー委員会委員長（理事）より、配付資料に基づき、2021年度セミナーの中止について説明があり、了承された。

8. その他

会長より、2022年度の役員継続の可能性について、事務局長以外の出席者に意向を訊ねたところ、4名は継続が可能、1名は退任したいとの申出があった。

また、惟村、村上両理事の後任はどうなるのかとの質問があり、会長より、所属大学の事情によるため同大学からの後任は難しいとの補足説明があった。今後理事会の審議を踏まえ、後任者を依頼することになる。

議 長 長塚 隆

印略

議事録署名人 福田 直美

印略

議事録署名人 松下 裕

印略